

# だい じ あんじょうした ぶん かきょうせい ぷ ら ん ねんど 第3次安城市多文化共生プラン 2025～2029年度

## ぷ ら ん つく プランを 作るに あたって

### ■ ぷ ら ん つく りゆう プランを 作った 理由

あんじょうし たぶん かきょうせい とりくみ きじゆん ねん がつ だい  
安城市は、多文化共生の 取組を すすめる 基準として、2014年3月に 第1  
じ あんじょうした ぶん かきょうせい ぷ ら ん ねん がつ だい じ あんじょうした ぶん かきょうせい ぷ ら ん  
次安城市多文化共生プラン、2019年3月に 第2次安城市多文化共生プランを  
つくり、いろいろな とりくみ を してきました。

あんじょうし こうじょう おお がいこくじん はたら  
安城市は、工 場が 多くて 外国人が たくさん 働 いています。これから、もっと  
おお がいこくじん あんじょうし す い にほんじん がいこくじん  
多くの 外国人が 安城市に 住むと 言われています。そのため、日本人も 外国人  
も、もっと 暮らしやすく するために、第3次プランを つくることに しました。

### ■ い ち 位置づけ

あんじょうし いちばん たいせつ けいかく だい じ あんじょう し そうごうけいかく くに あいちけん  
安城市の 一番 大切な 計画である「第9次安城市総合計画」と、国や 愛知県の  
けいかく かんが い あんじょうし たぶんかきょうせい とりくみ ほうしん かんが  
計画なども 考 えに 入れて、安城市の 多文化共生の 取組を すすめる 方針や 考  
え方を しめ したものです。ぷ ら ん とりくみ あんじょうしやくしょ すべ  
の 部署が 協 力して 取組を すすめます。

### ■ けいかくき かん 計画期間

2025年度から 2029年度までの 5年間と します。

## き ほんてき かんが かた 基本的な 考え方

### ■ り ねん 理念

だい じ ぷ ら ん あんしん く たぶんか あんじょう う つ  
第2次プランの「だれもが 安心して 暮らせる 多文化のまち 安城」を 受け継ぎ  
ながら、にほんじんしみん がいこくじんしみん ぎょうせい しみん すべ ひと きょうりよく  
多文化共生社会を 目指すという 意味を込めて、「ともに つくろう」を つ けくわ  
以下を 理念と します。

ともにつくろう だれもがあんしん く たぶんか あんじょう  
安心して暮らせる 多文化のまち安城

## ■施策の 方針

第3次プランでは、理念をもとに、3つの施策の 方針を決めました。

多様な 主体による 地域づくり  
ライフステージに 応じた 暮らしの 支援  
コミュニケーションの 充実

---

## 施策内容 <★新規 ◎拡充 ○継続> ※太字は 重点的な 取組

---

### ■1. 多様な 主体による 地域づくり

多文化 共生の 意識を 持つ人を 増やし、多文化 共生で 活躍する 市民や 市民活動  
団体を 探して、育て、市民活動団体と 行政が 協力することで、行政と 市民、  
市民同士など、安 城市全体で 多文化 共生の 取組を すすすめます。

#### 1-1 多様な 主体と 協力して 行う

多文化 共生に 関わる 市民や、多文化 共生 推進団体との 定期的な 情報交換◎

多文化 共生を すすすめる 団体の 活動を 助ける★

多文化 共生に 興味をもつ 市民を 見つける◎

外国人を 雇っている 企業などと 協力できるようにする★

多文化 共生の 拠点をつくる◎

#### 1-2 多文化 共生の 意識を 持つ人を 増やし、お互いを 理解し、交流を すすすめる

多文化 共生の 意味を 知らせる○

いろいろな 国の 言語や 文化・習 慣に 触れる 機会をつくる○

国際理解・国際交 流の 講座や イベントを する○

外国人市民も 参加しやすい 講座や イベントを する○

多文化 共生を すすすめる団体が 交 流 イベントを 開きやすくする◎

海外の 姉妹都市などと 交 流 する○

### 1-3 外国人市民の活躍をすすめる

活躍のロールモデルとなる外国人市民を紹介する○

多文化共生に興味をもつ市民を見つける◎【再掲】

外国人市民と定期的に意見交換する○

外国人市民に地域の活動を知らせる・教える◎

身近なコミュニケーションツールを知らせる○

## ■2. ライフステージに応じた暮らしの支援

外国人が増えたり、いろいろな国籍の人が増えたりして、複雑になった外国人市民からの相談に対し、いろいろな部署・機関が連携し、いつまでも続く支援を行います。

### 2-1 外国人市民に寄り添った相談の体制づくり

市役所で多言語での相談ができるようにする○

外国人相談員や専門家に相談できるようにする★

市役所は、関係する部署・機関と連携して相談に対応する★

市役所における多文化共生の意識を高める○

市役所の職員に、外国人の相談に対応するための、研修をする★

市役所の職員は「やさしい日本語」を使うようにする○

### 2-2 安全・安心な暮らしに関する制度・情報の理解促進

外国人市民へ、健康保険、年金、介護保険などの社会保障制度を知らせる○

防災に関する知識を知らせる○

地域の防災訓練、防災講習会などへの参加をすすめる○

避難所における外国人の市民への対応をすすめる★

日常生活のルールなどに関する情報を知らせる◎

日常生活のルールなどに関する講座をする○

外国人市民向けの生活・イベント情報を知らせる○

あいち医療通訳システムを知らせる○

## 2-3 子ども・子育ての支援

出産・子育ての情報を教える○

子育て施設に外国人市民が行きやすくする○

子育て中の親子が集まれる場所をつくる○

外国人親子の子育ての悩みを聞いて、助ける○

家で母国の文化や母語に触れられるようにする★

外国人の子どもの発達に関する悩みを聞いて、助ける○

保育園、幼稚園、学校に行っていない子どもを助ける★

小学校に行く前の子どもに日本語を教える、日本の学校のことを教える◎

子ども日本語教室・学習支援教室の開催・運営を助ける◎

小中学校で日本語指導が必要な児童生徒の日本語学習を助ける○

日本語指導が必要な児童生徒を助ける時は、多文化共生をすすめる団体と協力する○

日本語指導が必要な児童生徒と保護者に、キャリア形成や日本の教育制度を教える◎

中学校を卒業した後、勉強で困っている外国人の子どもを助ける★

## ■3. コミュニケーションの充実

外国人市民が日本語を勉強しやすくします。外国人市民が情報を得られるよう、効果的な情報提供・発信などに取り組みます。

### 3-1 情報を発信する体制づくり

SNSなどを使って情報発信する◎

市役所からの文書を多言語化していく○

市役所での手続き時などを利用して情報を知らせる○

外国人を雇っている企業へ情報を知らせる★

多文化共生をすすめる団体、外国人のコミュニティと協力して情報を発信する★

### 3-2 日本語の教育をすすめる

おとなにほんごがくしゅう かいさい うんえい たす  
大人日本語教室の開催・運営を助ける◎

こ にほんご きょうしつ がくしゅう し えんきょうしつ かいさい うんえい たす さいけい  
子ども日本語教室・学習支援教室の開催・運営を助ける◎【再掲】

しょうがっこう い まえ こ にほんご おし にほん がっこう おし  
小学校に行く 前の子どもに日本語を教える、日本の学校のことを教える◎  
【再掲】

にほんご きょうしつ かん じょうほう し  
日本語教室に関する情報を知らせる★

おんらいんがくしゅう ツールなどの じょうほう し  
オンライン学習 ツールなどの情報を知らせる★

### 3-3 国籍を超えたコミュニケーションをすすめる

にほんご しゅうち  
「やさしい日本語」の周知★

にほんご かん こうざ  
「やさしい日本語」に関する講座をする★

みぢか こみゆにけーしょん ツール し さいけい  
身近な コミュニケーションツールを知らせる○【再掲】

しやくしょ しよくいん にほんご つか さいけい  
市役所の職員は「やさしい日本語」を使うようにする○【再掲】

## プランの推進に向けて

### ■プランの推進体制

ぶらんをすすめるため、あんじょうし しみん だんたい きぎょう れんけい きょうりよく  
プランをすすめるため、安城市、市民、団体、企業が、連携・協力しながら、  
と 取り組めます。あんじょうしやくしょ しみんきょうどう か たぶん かきょうせい おも  
と 安城市役所では、市民協働課が多文化共生をすすめる主な  
たんとう 担当として、と 取り組めます。

### ■プランの進捗管理

ぶらん が すすんでいるか かくにん しみんきょうどう か かんけい か まいとし  
プランがすすんでいるか 確認するのは、市民協働課が関係する課に、毎年  
す すすんでいる じょうきょう ちょうさ ぶらん もと し さく とりくみないよう じょう  
状況を調査し、プランに基づく施策の取組内容やすすんでいる状  
きょう と 況を取りまとめていきます。

だい じ あんじょうし たぶん かきょうせい ぶらん さくていしん ぎかい いいん ちゅうしん  
また、第3次安城市多文化共生プラン策定審議会の委員を 中心につくる  
「たぶん かきょうせいこん わかい じっせき ほうこく いいん いけん き  
多文化共生懇話会」で実績を報告し、委員からの意見などを聞きます。

せいかしひょう  
■成果指標

| しひょう<br>指標                                                            | げんじょうち<br>現状値 (2023年度)            | もくひょうち<br>目標値 (2029年度)              |
|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| たぶん かきょうせい<br>多文化共生をすすめる団体<br>かつどう<br>で活動する人                          | 160人                              | 240人                                |
| たぶん かきょうせい<br>多文化共生がわかる<br>にほんじん しみん わりあい<br>日本人の市民の割合                | 45.1%                             | 60.0%                               |
| まちの いべんと<br>イベントに参加した<br>ことのある がいこくじん しみん<br>外国人の市民の<br>わりあい<br>割合    | 51.7%                             | 60.0%                               |
| にちじょうせいかつ<br>日常生活で困っている がい<br>こくじん しみん わりあい<br>外国人の市民の割合              | 75.1%                             | 65.0%                               |
| さいがい<br>災害への準備ができてい<br>る がいこくじん しみん わりあい<br>外国人の市民の割合                 | 32.8%                             | 50.0%                               |
| にほんご しどう<br>日本語指導が 必要な せいと<br>生徒が<br>こうこう<br>高校などへ すす<br>む わりあい<br>割合 | 84.0%                             | 91.0%                               |
| がいこくじん む<br>外国人向け SNS「Anjo-<br>info」の とうろくしゃ かず<br>登録者の数              | facebook: 778人<br>Instagram: 343人 | facebook: 1,600人<br>Instagram: 700人 |
| にほんご<br>日本語で 困ったことがある<br>がいこくじん しみん わりあい<br>外国人の市民の割合                 | 69.6%                             | 65.0%                               |
| 「やさしい日本語」をし<br>にほんご<br>知っている 日本人の 市民の 割合                              | 29.2%                             | 40.0%                               |